

受験上の注意

I. 選抜日当日の入構について

1. 試験会場施設の開門時間は、9時20分です。
2. 受験票を忘れた場合は、係員に申し出てください。

II. 試験室について

試験室は、選抜日当日、入構の際にお知らせします。

III. 試験室における注意（面接を除く）

1. 選抜上の注意事項等の説明を行いますので、各選抜開始20分前までに、受験番号順に指定された試験室の席に着き、受験票を机上の受験番号札の手前に出しておいてください。
2. 机上には受験票、黒鉛筆・シャープペンシル（H、F、HBに限る。）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの、ナイフ類を除く）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型〔W：10cm、H：8cm、D：5cm以上〕のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬です。眼鏡、ティッシュペーパー、目薬は袋又は箱から中身だけ机の上に取り出してください。これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、選抜終了まで預かることがあります。
3. 選抜の開始・終了は、監督者が指示します。**時計を持参してください**（携帯電話を時計として使用することは認めません）。
4. 試験室に時計は設置していません。腕時計を使用される際は、腕からはずして机の上に置いてください。計算機能、翻訳機能等の付いた時計の持ち込みは認めません。また、携帯電話など、電子機器の電源を切っておいてください。
5. **各選抜開始後30分以上遅刻した場合は、受験を許可しません。**
6. **各選抜開始から終了まで退出はできません。**各選抜中の発病または用便等、やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
7. 健康状態が不良の場合は、選抜開始前に監督者にあらかじめ申し出てください。
8. 不正行為者は、全ての選抜を無効とします。
9. その他、試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。
10. マークセンス方式によるマークの仕方
鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとる方法をマークセンス方式といいます。
解答方法は下の例にならって、すべて黒鉛筆（シャープペンシル可）で濃く、正確にマークしてください。

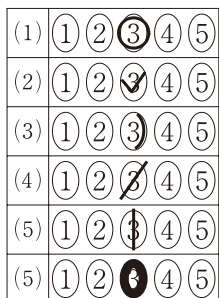
〈マーク記入例〉

正しい例



マークする場合、例えば③とマークするなら、左図のように記入枠内をくまなく塗りつぶしてください（マークがうすい場合は読み取れない場合があるので注意してください）。

悪い例



- 印で囲む
- ✓印をつける
- 正確に塗っていない
- 記入がナナメになっている
- 上下の枠をつきぬけている
- 中心を塗りつぶしていない

一度記入したマークを訂正する場合は、**プラスチック製消しゴム**で完全に消してから記入し直してください。



左図のように×印をつけても消したことはありません。

Ⅳ. 感染症※に対する注意

- (1) 本学では感染症により受験ができない場合でも追試は行いません。
- (2) 感染症により出願していた選抜を受験できなかった場合、受験することができなかった選抜より後に実施される選抜日程に受験を振り替えることができます。
- (3) 感染症の対応方法等に変更が生じる場合は、本学ホームページ入試情報サイトでご案内いたしますので、そちらをご確認ください。

※学校保健安全法施行規則で出席停止の期間が定められている感染症。

Ⅴ. その他

- (1) 当日は、必ず受験票を携行してください。万一忘れた場合は、仮受験票発行所で手続を行ってください。
- (2) 選抜日当日の緊急連絡は、**0823-70-4500**に電話してください。
- (3) 受験票は志願書類等を確認後に発送します。選抜日の3日前までに届かない場合は、入試センター（0823-70-4500）までご連絡ください。